



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成25年9月17日(火) 第2646回 例会 (本年度第10回)

10月1日(火)	通常例会(ゆとり例会)
10月8日(火)	ゲストスピーチ 加茂水族館館長
10月12日(火)	東京東江戸川IRC45周年・盟約20年記念式典
10月15日(火)	RI規定休会

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

鶴岡ロータリークラブ
ホームページ



会長挨拶

嶺岸 禮三 君

本日は三科(みしな)荘内病院 院長をお迎えしております。先生のお話に時間を割きたいので会長報告は手短かにいたします。

本日11時から、職業分類・会員選考・会員増強・会員維持委員会が開催されました。昨年度からの積み残しもあり、今年度は3名の純増が増強目標になります。会員各位の協力をよろしく願いいたします。心当たりのある方は青柳委員長まで情報提供してください。

9月末から、10月にかけて、いろいろ行事が入っており、皆様の御協力また積極的参加をお願いしたいと思います。9月28日が地区の新世代奉仕セミナー、翌日29日が金峰山視察登山、10月に入って12日(土)が東京東江戸川45周年記念式典、27日(日)が香頭ヶ浜海岸清掃と予定されています。その他に会津若松南クラブから「会津の里にこらんしょ!」プロジェクトへの参加のお願いが来ています。当クラブも来年は55周年記念式典が控えているので何もしないという訳にはいきません。大河ドラマ「八重の桜」で会津は全国的に注目され観光客も増えていると思います。魅力ある秋の会津に何人かでいければと思っています。御一考いただければ幸いです。

次に台風18号が日本列島に大きな爪痕を残し去っていきました。3連休でお出かけだった方は大変だったと思います。実家の八戸へ電話したら、広島から姪が遊びに来ていて帰れず困っていました。私は先日南クラブと合同で行った職業奉仕フォーラムの月信用原稿を書いていた。またいろいろテープを聴いたり、書いたりしているうちに、どうもよくわからない、引かかる言葉がありました。それは「奉仕の理想」。ロータリーソングにも登場する、お馴染みの言葉ですがどうにもよくわからない。フォーラムで鈴木委員長は、「奉仕の理想とは、thoughtfulness,(思いやり) helpfulness

(助力)すなわち、ロータリーの中で奉仕の機会としていろんな人と知り合いになって、友情を深め合って、いろいろ学んでロータリアンとしての根を張りなさいということ。奉仕をする心の醸成です。」といわれました。簡単にいうと、入って学び、出でて奉仕せよということ。これを奉仕の理想という。これはそういう定義だといわれれば、成程そういうものかと納得するの maybe ではないが、やはり引かかる。原文はどうなっているのか。奉仕の理想は、英語ではthe idea of serviceです。ideaを理想と訳したのは有名な米山梅吉氏です。理想と訳した経緯は私には分らない深いものがあると思いますが、素直に訳せば観念とか理念になります。奉仕の理想をロータリーの「奉仕理念」とするとすっきりするような気がします。

2013年からこれまでの「ロータリーの綱領」が「ロータリーの目的」になりました。英語原文は1951年から変わらずそのままです。両者を比べてみると、綱領本文は「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。」でしたが、目的では、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある」となりかなりすっきりした印象があります。「奉仕の理想」が「奉仕の理念」になり分かりやすくなりました。

昔から私には「奉仕の理想」という言葉が「理想の奉仕」に聞こえ、何か特別なことをしないとイケないという強迫観念がありました。例えば、昨日NHKのプロフェッショナルでやっていた、アフリカで活躍している川原先生のような活動です。大きなことはできなくても、地域のためになることをやっていくことが大事だと思います。



荘内病院創立100周年を迎えて

鶴岡市立荘内病院 院長 三 科 武 氏

荘内病院は大正2年、東西田川郡立病院として鶴岡町に建設され、今年創立100周年を迎えることが出来ました。山形県内でも古い歴史を持つ病院の一つであります。



いつの時代でも病院を設立、運営するということは膨大なエネルギーを要す事柄であり、当時の庄内地域の政財界を挙げての努力と16万人の市民の願いが結集して成し遂げられました。名前の通り庄内の住民の健康を守るという使命を受けた病院であり、街のシンボルとして鶴岡の中心にあるモダンな建物でした。当初は内科、外科、産婦人科、眼科の4診療科、総ベット数50床、病院職員は医師8名、看護婦21名など総勢48名の職員で構成されておりました。

医師の不足は昔より悩みの種であり、戦前は遠く九州大学から院長を迎え医師の派遣を受けていました。財政難にありながらも、医療の質を落とすことなく医師のレベルは高く維持されておりました。戦中は鶴岡が日本医科大学の疎開先になったこともあり、同大学の附属病院となりました。戦後は新潟大学から、また山形大学医学部の設立により山形大学、形成外科は昭和

Annotation



【ロータリー青少年交換 (Rotary Youth Exchange)】

15~19歳の年齢層の学生が、国際理解と親善を推進するために、最長一年間にわたり海外で勉強または滞在する国際ロータリー常設プログラムです。

【ニコニコボックス】

1936年、大阪で「ニコニコ箱」として始まったとされ、スマイルボックスとも言われます。喜怒哀楽の出来事、早退・遅刻などに対し、善意のお金を箱に納めます。集まったお金は社会奉仕活動などに活用されます。

【RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)】

14~30歳の青少年を対象に、研修での経験を積ませることによって、地域社会に在住する若い人々の指導者として、また、善良な市民としての資質を伸ばし、個々の能力を開発することを目的としたプログラムです。

大学、最近では小児外科は久留米大学からも医師の派遣を受けております。昭和50年代に入り、急激に医療技術の発展がみられ医療機器の進歩や患者さんの療養環境改善が必要とされ平成15年(2003)に新築移転したことは記憶に新しいことであります。

現在は南庄内の急性期医療を担う基幹病院として活動しております。これからの医療は病院完結型ではなく、地域医療連携が必要になります。医療は地域とともに発展し続けるものであり、若い人が多く集まる鶴岡の街となり、病院も発展できることを願っております。

委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

三 科 武氏(荘内病院 院長)

◎メイクされた方

藤川享胤・佐藤孝子・塚原初男・阿蘇司朗

佐藤詩郎・富樫松夫・富田喜美子・樋渡美智子

スマイル😊

吉野隆一君 三科先生スピーチありがとうございますました。

嶺岸禮三君 三科先生スピーチありがとうございますました。先生のご活躍と病院の発展を祈念いたします。

【規定審議会

(Council on Legislation)】

国際ロータリー(RI)の立法機関です。4、5、6月のうち、できれば4月に招集され、各地区から1人、代表議員が出席します。3年に1度開かれ、ここで決まったことは次の年度の7月1日から発効します。RI定款・細則や、標準ロータリークラブ定款改正のための会議です。詳細は『手続要覧2010』153~169頁、182頁、198~206頁、281頁をご覧ください。

【アーサー・フレデリック・シェルドン (1868~1935)】

ロータリー第2標語である「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というスローガンを掲げた初期の指導者的人物。利益は利己主義よりも、人間性に根ざした目的と結びつくべきであり、職業は社会の最良の利益に奉仕しようという願望であると説いた人です。



出席報告

会 員 数	40名
出 席	27名
出 席 率	70.27%
前々回確定出席率	54.05%

RI会長 ロンド・バートン

地区ガバナー 新関 彌 一 郎

会長／嶺岸禮三 副会長／越智茂昭 幹事／小林健郎 会長エレクト／丸山隆志
会報委員会／嶺岸禮三・本間 厚・石田 雄・丸山隆志

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376